

# グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No.65号  
2024. 8

発行:NPO法人  
みどりの市民  
〒380-0948 長野市  
差出南 2-14-23  
ブンゲイ印刷ビル3階  
発行人:高木直樹

## みどりの市民「信州エコ大賞」受賞

みどりの市民は、第26回(2024年度)信州エコ大賞(市民団体部門)を受賞しました。この賞は、(一社)長野県保全協会主催で、長野県内に於いて環境保全に貢献し実績顕著な個人、団体、企業に贈られるものです。NPO法人として2003年に設立以来、これまで地球温暖化防止・省エネ活動、循環型社会作りを目指しての生ごみ削減・堆肥化活動、環境学習・教育のための人材育成など様々な活動をしてきました。「時代を先取りし、いち早くそれらの活動に取り組んできたこと」又「他団体と協働しながらの活動」が評価されました。企業部門では守谷商會が受賞されました。授賞式は10月10日にホテル国際21で行われます。

## 2024年度総会開催される ～役員改選～

2024年度総会が、5月12日(土)ふれあい福祉センターで、会員40名のうち34人の参加(内18名委任状)により開催された。最初に、高木代表理事から2年にわたるみどりの市民の在り方について議論検討してきた経緯と「今後もみどりの市民を継続していく」という方針が報告され承認された。又、本年度は役員2年任期が満了となり改選。8人の理事の内7人が再任され、1人が退任、新任理事1人を迎え、計8人の理事体制となった。2023年度事業報告、計算報告、監査報告、2024年度事業計画、予算書が提案され、承認された。

退任された山口吉久理事は12年間に亘りみどり農園事業を中心に様々な部門で運営を支えてくださいました。

\*総会の資料は、HPにアップされています。

### 改正役員

代表理事	高木直樹
副代表理事	渡辺ヒデ子
副代表理事	小池啓道
理事	田中 守
理事	浜田 崇
理事	渡辺隆一
理事	小林達矢
理事	和田凌弥
監事	鈴木克幸
監事	橋本 淳

### 《和田凌弥理事 自己紹介》

私は平成6年生まれで今年30歳になります。生まれも育ちも長野県で、信州大学理学部にて植物生態学を学びました。出身地は長野市鬼無里地区で、生まれた時から自然が身近にある環境で育ちました。この自然を守るだけでなく、その大切さを感じ、学ぶことができる環境を作りたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

## 「倉澤さん」「塚田さん」に感謝状贈呈



2023年度はみどりの市民が2003年5月1日にNPOとして設立して満20年度の年。2024年5月1日から21年目を迎えました。これまでみどりの市民を支えてくださいました倉澤岩雄さん塚田裕子さんに感謝状を贈呈しました。倉澤さんは本業のパソコン修理の技術を活かし、みどりの市民のIT関連のメンテナンス及びHPなどの支援、塚田さんは庶務、経理など裏方で活動していただきました。感謝状贈呈式は総会終了後に行われました。

# デコ活 ?

代表理事・高木直樹

政府は今年「デコ活」なる活動を推し進めています。毎年のようにころころ変わるのもいかなものかとは思いますが、簡単に説明します。

2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動「デコ活」を展開中。とのこと。少なくすることをあらわす「DE (デトックスとか言いますよね)」と「エコ活動」を組み合わせたとのことです。

脱炭素という言葉は知っているけれども、自分自身の生活では行っていない。あるいは方法が分からないという人がまだまだ多いので、10年後の姿を示して、できることからやっっていこうという趣旨のようです。



「環境省HPより」

ここにあるのが10年後の姿だそうです。金額的には年間43万円、自由に使える時間が388時間増える生活です。金額を見ると太陽光発電(5.3万円)、住宅の断熱化(9.4万円)、次世代自動車(7.5万円)、テレワーク(6.1万円275時間)が大きな柱です。全て今現在の技術です。これを2030年までに先行地域や「意識高い系」の人が実践し、2050年までには全ての地域、すべての国民が実践すればいいという趣

旨です。

この原稿を読んでいる皆さんは「意識高い系」ですよ？先行している国民、地域には補助金や様々な優遇措置があります。あとからのグループ（地域、国民）は優遇措置が無くなってからの参加になります。

高木は？もちろんここに書いてあることは全て実践していますよ。テレワークが一番弱いかな。

## 《2024 信州環境フェアに出展》 ～ゼロカーボンとエシカル消費をつないでみよう～

みどりの市民は6月29日に開催された「2024 信州環境フェア」に「エシカルふえす長野実行委員会」の事務局担当として参加した。信州環境フェアの今年のテーマは「親子で体験！地球温暖化を食いとめよう！」、会場は長野市生涯学習センター3・4階トイゴ広場等、



対象は子ども・親子と規模は小規模となったが、NPO、環境保全協会、長野市環境部、企業などの出展ブースは、楽しいゲーム、展示、販売、ステージありで、多くの参加者で賑わっていた。

みどりの市民の出展テーマは「エシカルゲームで学ぼう～ゼロカーボンとエシカル消費をつないでみよう～」でした。

**展示/** パネル展示「エシカル消費ってなあに？」

エシカル商品の展示

**ワーク/** マイバッグ作成：エコバッグにお絵かきしてプレゼント・七夕飾り

**ゲーム/** 「ゼロカーボン」と「エシカル消費」をつないでみよう」3種類のグッズで、原材料によるCO<sub>2</sub>の発生量を比較・うちわ（竹とプラスチック）・ザル（竹と鉄）・おもちゃ（木とプラスチック）



マイバッグ作りと七夕飾り

クイズやワークに思ったより多くの親子の参加があった。

特に使い捨てではないライフスタイルのきっかけ作りのマイエコバッグ作りは持参したエコバッグ35枚がお昼過ぎには終わり、参加者には残念がられた。今ではあまり行われなくなった七夕飾りは緑の笹が会場に潤いを与えてくれ、終了後はボランティアセンターで7月7日まで展示。展示コーナーでは、エシカル消費は聞いたことはあるという若いお母さん達に具体的商品で広報した。ゲームは、「ゼロカーボン（温暖化対策）のためにはどっちがいいかな？」というクイズ形式で行った。1対1のような形式だったので、参加者は限られたが、参加した子どもたちが、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素について具体的に考える場とした。



ゲーム（うちわとおもちゃとザル）

子どもたちに、エシカル消費の実践はゼロカーボンに繋がるのがアピールできた。

# 「生ごみ減量アドバイザー」かえる便り NO1

～生ごみ減量・堆肥化事業を支えるスタッフ会～

みどりの市民は、長野市生活環境課からの委託事業として「生ごみ減量に関する事業」を実施。現在、メインの事業となり財政的にも大きなウェイトを占めています。又、独自の事業として「どんぐり・るるネット」を実施。それらの事業の運営をサポートしているのは、生ごみ減量アドバイザー有志による2つのスタッフ会です。一つは生ごみ全般事業のスタッフ会で事務局入れて7名、もう一つはどんぐりるるネット関連で5名。ほぼ2カ月に一度事務所で開催し、堆肥化のこと、研修会のあり方など熱気あふれる意見交換をしながら進めています。るるネットでは、堆肥化の動画を作り「YouTube」に発信することを企画中です。



るるネットスタッフ会

～生ごみ減量アドバイザーのつぶやき（るるネット通信 15号より）

## キュウリは今年も大豊作 ～元肥はもちろん竹チップ堆肥～

今年も庭の一角の野菜が生き活きと育っています。苗を10本植えて、6月10日の初収穫から7月10日までのキュウリの収穫本数は203本と順調に増えています。元肥はもちろん竹チップ堆肥を積んでおいたものを使用し、根元にはマリーゴールドを植えてあり、地上の害虫や地中のセンチュウを忌避してくれています。お陰様でミツバチが花のミツを吸って受粉してくれているので花の数は数え切れない程咲いています。

段ボール堆肥作りを始めて約10年！自分の口にするものは素材そのまま食したいので化学肥料や消毒は一切使っていません。これからもご近所さんが「甘くて美味しいよ！！」と言ってもらえるのを張り合いに今日も野菜そして土作りに励みます。（丸山幸恵 るるネットスタッフ）



## お知らせコーナー

### エコサロン ～ハチマでSDGsにチャレンジ～

- ・月日：10月7日（月）10時～12時
- ・場所：ふれあい福祉センター調理室
- ・参加費：500円 ・申込み 9月27日（金）までに
- ・定員10名（先着順） 下記事務局まで

ハチマ水とハチマたわし  
を作ります。



### 生ごみいきいきサロン 第2弾

～生ごみ堆肥化相談室～

とき：10月26日（土）10時～12時

ところ：ふれあい福祉センター1Fテーブル

参加費：無料

生ごみ堆肥化うまくいかない人、  
ごみについてモノ申したい人集まれ

### 生ごみ減量アドバイザー研修会

とき：9月26日（木）10時～11時30分

ところ：ふれあい福祉センター第2・第3会議室

《申し込み方法》

下記みどりの市民の事務局へメール、Tel、faxで、  
お名前、連絡先をご連絡ください。

みどりの市民の会員数（2024年5月1日現在）

正会員 37人 賛助会員 12人 団体賛助会員 1団体  
〒380-0948 長野市差出南 2-14-23 ブンゲイ印刷3階

TEL&FAX 026-217-0514

E-mail: midoric2023@gmail.com

URL <https://midorinoc.sub.jp/>



《陽だまりの窓辺で》今年くらい暑い暑いとい  
った年はない。亡くなった義母はよく「開闢（かいびゃ  
く）以来だ」と言っていた。開闢とは「天地が出来て  
から今までずっと」ということ。記録更新が続く連日  
の酷暑、今年の暑さはまさしく「開闢以来」の暑さ。  
いや、暑さばかりではないここ近年は「コロナウィル  
スによるパンデミック」「線状降水帯による豪雨」「大  
地震」「終わらない戦争」など。開闢以来のことが続  
く。全て人間のなせるワザが結果的に人間世界にブー  
メランとして戻ってきている。はて、私は何をしたら  
よいのか。パソコンを見ながら戸惑ってしまう。H.w.